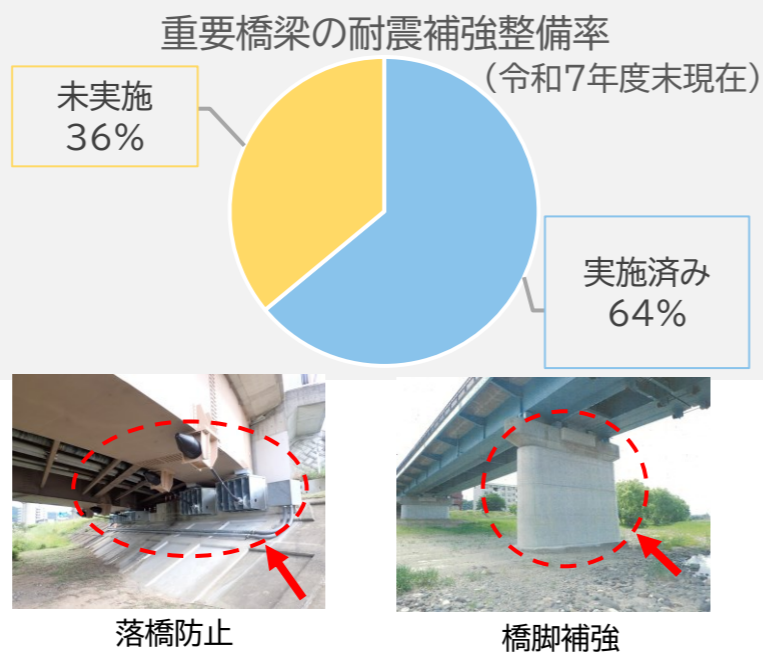


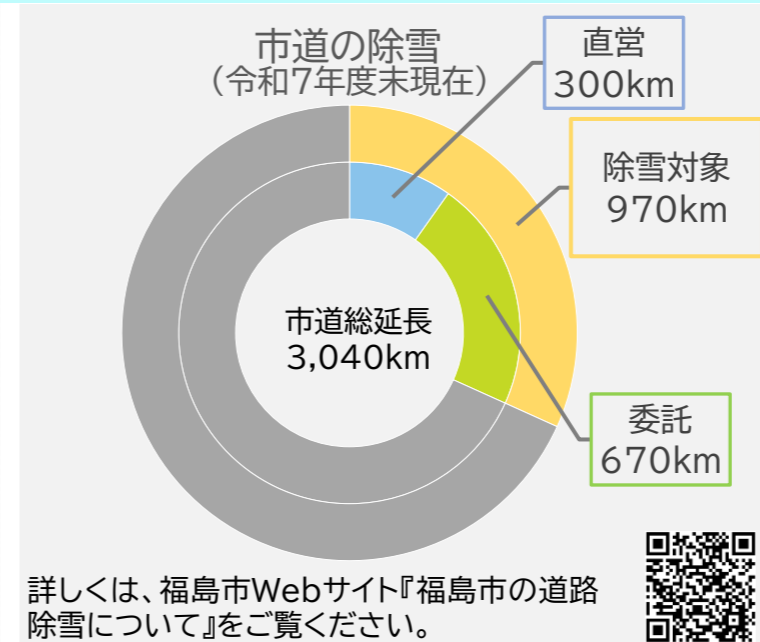
福島市道の基本情報

- 市道総延長は、約**3,040km**。
- 管理橋梁は1,072橋で5年に一度点検。
- 77橋を重要橋梁と位置づけ、49橋(64%)の耐震補強が完了。



除雪パッケージ

- 車道での積雪10cmが見込まれる場合に除雪出動。
 - 除雪対象は970km。(市道総延長の約3割。緊急輸送路、救急病院へのアクセス、バス路線、主要幹線道路など)
 - 直営路線300km、建設業者等への委託路線670km。ICT活用により、夜間の出動待機、除雪時の進捗把握等を効率化。
 - 町内会等を対象に歩道等の除雪活動を支援し、除雪体制の構築促進を実施。
- ☞ 除雪アダプト制度



☞ 除雪アダプト制度

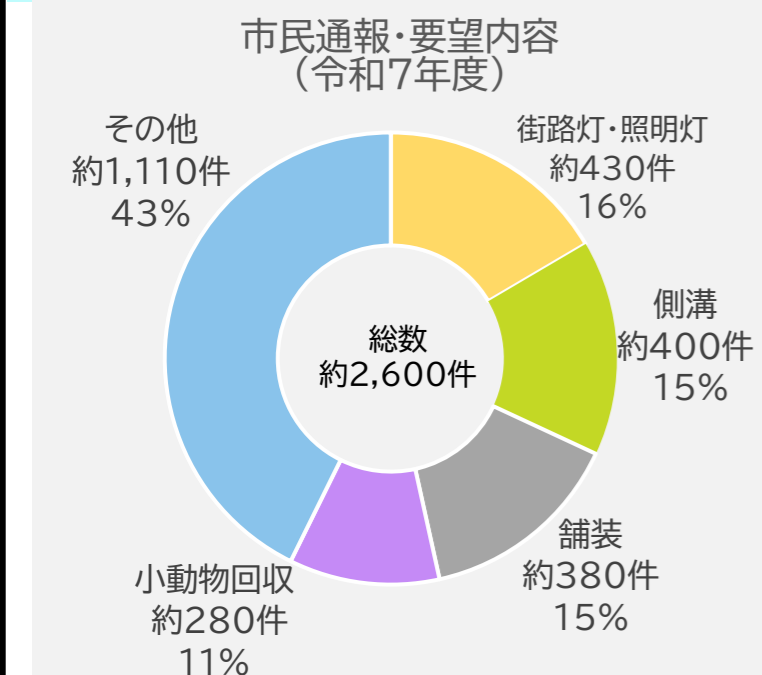
身近な道路の除雪をボランティアで行う市民団体等に対し、市が、傷害保険等への加入、小型除雪機械の燃料支給、反射チョッキ・防寒手袋などの支給、除雪用具の貸出しなど、活動支援を行う制度。R7年度末現在、9団体と協定を締結。



《活動を行う市民の声》
「自分の善意・行為が公に認められ、より前向きに取り組める雰囲気になったと感じています。」

市道のパトロール

- 適切に維持管理するため、一日約85kmパトロール。
- 道路に関する市民からの通報・要望は、年間約2,600件(令和7年度)寄せられており、うち430件(16%)は街路灯・照明灯、約400件(約15%)は側溝に関するもの。



☞ LINE 市民通報システム

「危険だな」「壊れているよね」と気づいたら、スマホで写真を撮ってLINEで通報してください。

道路関連の通報約700件がLINEから。市の公式LINEのお友だち登録は7万人超え。

安全・安心な道路環境を維持するため、お気付きの点はLINEで教えてください!

市道の維持管理

- 舗装の損傷や危険箇所の解消を図るため、令和7年度は**道路修繕対策を重点的に実施!!**主要幹線道路の舗装や通学路等の区画線の修繕を**集中的**に実施し、安全確保に努めている。また、緊急的な補修は維持補修センター職員が対応。



維持補修センターの作業

道路パトロール → ポットホール(穴ぼこ)発見 → 緊急補修 → 完了!

※約2,600件のうち対応済みは約2,400件(92%)。
※未対応のものは修繕対応中や必要性がないものなど。



市道の新設改良 (重点事業)

■産業エリアにおけるアクセス改善、歩道等の整備による通学路の安全対策、段差の少ない歩道整備や視覚障がい者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化等を進めています。



事業実施箇所

- 災害時に市役所、保健福祉センター、新消防庁舎等の防災拠点をつなぐ緊急輸送路 **令和8年度完成予定!**
 - ①杉妻町御山線(新浜町工区)改良工事
延長 L=500m 幅員 W=15.0~18.0m
 - ②国道13号と国道4号を連絡する中心市街地北部の東西をつなぐ幹線道路
延長 L=450m 幅員 W=25.0m
 - ③旧4号から「こむこむ前」通りをつなぐ中心市街地の重要幹線道路
延長 L=240m 幅員 W=15.0m
 - ④北沢又丸子線(北沢又工区)改良工事
延長 L=320m 幅員 W=17.0m
 - ⑤国道4号から天神橋をつなぐ中心市街地南部の東西アクセスの向上を図る重要な幹線道路
延長 L=340m 幅員 W=16.0m

“道路”の新しい使い方

- 道路を、ただ通るためだけの空間としてだけでなく、憩いや賑わいの空間として使う、新しい取り組み。『ほこみち』
- 道路空間の新たな利活用を図るため、福島市で初めて、「吾妻通り」をほこみちの路線及び区域指定を行いました。(令和8年4月1日に指定)

●民間が主体となって、日常的にくつろぎや楽しさに出会える空間として気軽に使えるようになります。



ほこみち

「歩行者利便増進道路」の愛称。「地域を豊かにする歩行者中心の道路空間の構築」を目指すものであり、歩行者の安全かつ円滑な通行及び利便の増進を図り、快適な生活環境の確保と地域の活力の創造に資する道路を指定するもの。

吾妻通りに関することはこちら→



さんかくストリート



ICT・SDGsの取り組み

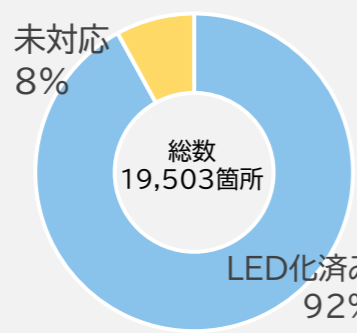
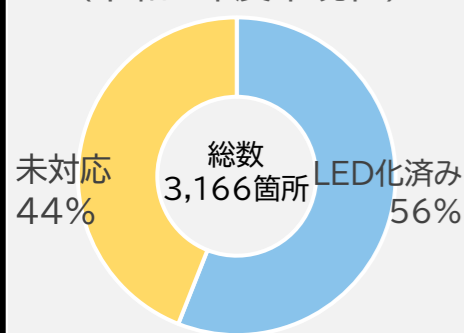


■消費電力の低減と灯具の長寿命化を図るため、道路照明灯・街路灯のLED化を実施。完了目標:令和9年度
<令和7年度末現在> 街路灯:92%
道路照明灯:56%

■道路陥没事故の未然防止のため、レーダーによる空洞調査(一次調査)、要注意箇所の詳細調査(二次調査)を順次実施。
<令和7年度末現在> 35%

道路照明灯のLED化 (令和7年度末現在)

街路灯のLED化 (令和7年度末現在)



電磁波地中レーダ搭載車

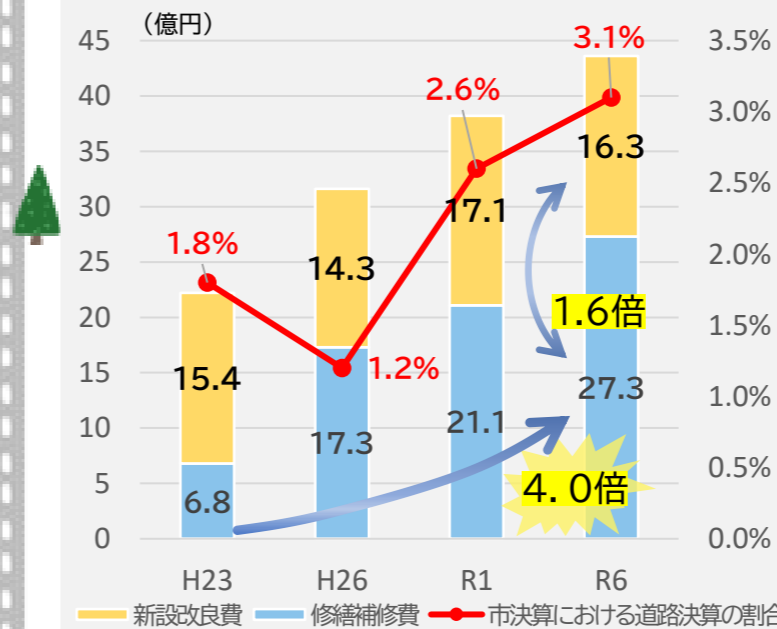


空洞調査は、緊急輸送路のほか、主要幹線道路やバス路線を中心に実施中!

市道に関する費用

- 令和6年度の道路関係費は43.6億円で、全体決算額1,406億円に対して**3.1%**です。
- そのうち新設改良費は16.3億円、修繕補修費は27.3億円で、新設改良費の**1.6倍**です。
- 修繕補修費について、平成23年度と令和6年度を比較すると、**4.0倍以上増加**しています。

道路関係決算額の推移



市道の認定・廃止制度

- 安全・安心な道路利用を図るため、開発行為によって作られた道路や整備済みの道路で要件を満たした場合に限り市道認定しています。
- 有効な土地利用を促進するため、市道の廃道プロジェクトに取り組んでおり、道路の沿線状況変化により、不特定多数の通行がないなど一定の要件を満たした場合に限り市道廃止しています。詳しくは当市Webサイトをご覧ください。



市道認定



市道廃止

お問い合わせ先



LINE



福島市ホームページ

